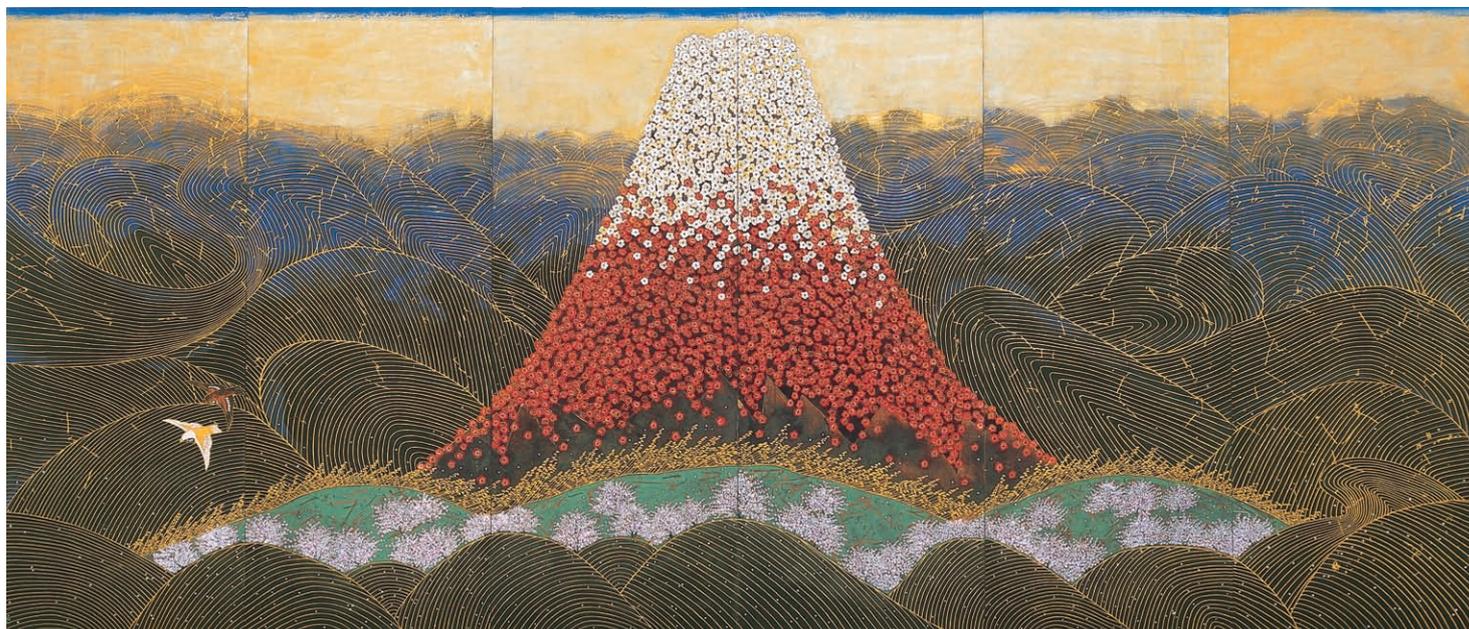


名古屋 文化 情報

2012
1
Jan.

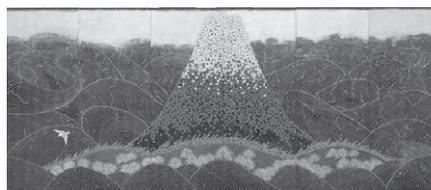
No.334
NAGOYA
Cultural
Information



2012
1
Jan.

Contents

一月のうた・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
随想 菊田 浩 (バイオリン作家)・・・・・・・・ 3
視点 名古屋観光いま・むかし まとめ/酒井晶代・・・・・・・・ 4
座談会 企画公演のあゆみ(Ⅱ) 進行・まとめ/倉知外子・・ 6
ピックアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
おしらせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9



表紙

作品

「2011311-日本の祈り」

(2011年/6曲1隻(180cm×360cm)/岩絵の具)

日本の美しい自然、日本人の優しいくらしの
安寧を祈りつつ描く。

平松 礼二 (ひらまつ れいじ)

1941年 東京都生まれ、名古屋育ち

1979年 第1回 中日大賞展、大賞受賞

1989年 第10回 山種美術館賞展、大賞受賞

2004年 第57回 中日文化賞 受賞

元・多摩美術大学教授

一月のうた

熱田様

おかざき みつお
岡崎光魚

恵方やや逸れて来にけり熱田様

自立あるのみ破魔矢は受けざりし

初恵比須無職ゆゑ頭を下げしのみ

軸の詩にある「耐」の文字掛柳

犬と共に食うて年初の袋菓子

信心深い訳でもないが、俳句づくりを楽しむ生活をしていると、神仏の雰囲気の中へ身をおく機会が多い。祭など各種の行事でもあればなお心は豊かになる。そして、神社や寺の森で味わう静寂さは、喧騒の中で生活している私を十分に休息させてくれる。

熱田神宮の森は深い。本殿の東側の樹林の奥には泉がある。樹林の外で自動車が走る音がかすかに聞こえるが、そこに泉があり湧き出る水が流れている。都会の中のその泉辺に至福のひとつを過ごすのである。

(年輪)

随想

バイオリンを作るということ



きくた ひろし

菊田 浩 (バイオリン製作家)

イタリア北部のクレモナ、ストラディバリの町として知られ、現在も数百人の製作者が腕を競いあう「バイオリンの聖地」で楽器製作を始めて10年目になります。

クレモナに渡る以前は、出身地の名古屋、そして東京の放送局で20年間、オーケストラなどのクラシック音楽を収録する「録音エンジニア」の仕事をしていました。バイオリンの録音も数多く経験しましたが、自分でバイオリンを弾いたことはもちろん、触ったこともありませんでした。

私がバイオリン製作を始めたのは35歳の時でした。一般的には、10代から修行を始めないとプロになるのは難しいと言われている分野ですが、あるきっかけで初めて手にしたバイオリンの美しさに魅せられてしまって、バイオリン製作に残りの人生を懸けたいと思ったのです。

すぐに独学で製作を始めましたが、バイオリンというのは設計図通りに正確に作れば良い楽器ができるというものでなく、まもなく壁にぶつかりました。つまり、本物のバイオリンを製作するためには、500年の歴史を持つイタリアのバイオリン製作の伝統を身を持って経験することが必要だとわかったのです。

20年間勤めた放送局を辞める時は、さすがに悩みましたが、妻の「今の仕事以上にやりたいことが見つかったのなら、イタリアで勉強しなければ意味がない」という一言に背中を押されて、クレモナ留学を決意しました。

クレモナに渡ったのは40歳の時でしたので、視力や記憶力の低下など、苦しむことも多かったのですが、あきらめずに進み続ければ必ず道は開けると信じていましたし、素晴らしい師匠との出会いなど幸運なできごと重なって、5年後にはチャイコフスキー・コンクールのバイオリン製作部門で一位となるなど、イタリアでの勉強の成果を実感できるようになりました。

ですが、楽器製作の道はさらに奥が深く、一生をかけて理想の楽器を追求し続けるものだと実感しています。バイオリンを一台完成するまでには数ヶ月かかりますが、木材を削る音に耳をすませたり、指で叩いて響きを確認めたりしていると、木材と対話をしているような気持ちにもなります。こうして生み出された楽器は、作品というよりも、まるで自分自身がそのまま表現された分身のような感覚にもなります。これは恐ろしいことです。恥ずかしくない楽器を作るためには、まず自分自身が人間として恥ずかしくない生き方をしているかどうかを問われるわけですから。

バイオリンは、製作者によって生み出され、演奏者が時間をかけて成長させていくもので、その寿命は数百年と言われていています。私の命が尽きたあとも、どこかで私の楽器が美しい音楽を奏でていてくれると思うのは、とても夢のあることですので、そのためにも、一台一台心を込めて良い楽器を作り続けていきたいと思っています。

名古屋観光いま・むかし

旅の計画でしばしばお世話になるガイドブック。最近はウェブ上の情報も充実しているが、本子のページを繰りながら、これから訪れようとする場所をあれこれ思い描く楽しみは健在だろう。名古屋に住んでいると、名古屋のガイドブックを手にする人は少ないはず。でもそれが、数十年前の観光案内だったとしたら？ 戦前のガイドブックをひもとくと、魅力的な名所がたくさん見つかりました。（まとめ：酒井晶代）

昭和8年刊『名古屋観光案内』

鶴舞中央図書館で見つけた『名古屋観光案内』（以下『観光案内』と省略）。1933（昭和8）年に名古屋観光協会から刊行されたもので、序文には「此の案内記は専ら『観光客』の身になつて、編纂して見ました」とある。現在のガイドブックのような使われ方を意図した書物であることは間違いないだろう。内容は名古屋市内編、郊外編、名古屋風俗（方言、民謡、年中行事など）の3部構成で、交通機関の案内や観光モデルコースも掲載されている。

モデルコースは時間別に「3時間の観光」「半日（6時間）の観光」「一日（12時間）の観光」の3種類。名古屋駅を起点として、それぞれ次のような経路が推奨されている。

【3時間コース】

名古屋城→熱田神宮→鶴舞公園

【6時間コース】

名古屋城→東照宮→大須観音→熱田神宮→東本願寺→鶴舞公園→覚王山・日暹寺→栄町・広小路通

【12時間コース】

名古屋城→東照宮→大須観音→七ツ寺→西本願寺→熱田神宮→名古屋港→東本願寺→鶴舞公園→八事山・興正寺→覚王山・日暹寺→建中寺・徳川邸→中村公園→中村遊郭→栄町・広小路通→盛り場行

※日暹寺は、現在の日泰寺

ご覧のとおり「一日コース」には夜遊びまで組みこんであり、当時の繁華街のありようも垣間見えて興味ぶかい。名所はその多くが神社仏閣で、グルメやショッピングが幅を利かせている最近の観光案内とはやや趣を異にする。

「名古屋めし」が席卷する現代版

最新版のガイドブックも何冊か読んでみた。驚いたのはその多くが味噌煮込み、味噌かつ、ひつまぶし、きしめん、手羽先といった「名古屋めし」を大きく取りあげていることだ。味噌を中心とした独自の食文化を楽しんでほしいという狙いだろうが、観光案内に見る名古屋は

すっかりグルメタウンである。

モデルコースに登場するのは前出の名古屋城、熱田神宮、大須観音のほか、徳川美術館、名古屋港水族館、東山動植物園、テレビ塔、オアシス21、ミッドランドスクエア、ノリタケの森、産業技術記念館など。エリアとしては、栄・名駅・大須のほか、熱田、名古屋城周辺、徳川園周辺、名古屋港、有松などを紹介しているものが多い。

『広辞苑』の「名所」の項をひくと、「景色または古跡などで名高い所。などころ」との説明が載っている。80年前の『観光案内』は、文字どおりの名所案内と言えそうだ。対する現代のガイドブックは、さながら街歩き案内といったところだろうか。こうした新旧のガイドブックの違いは、数十年の間に私たちの旅のありようが変化したことを如実に物語っている。

名所を訪ねて（1）建中寺～東照宮

『観光案内』に紹介されている名所のいくつかを実際に訪ねてみた。モデルコースから数箇所をピックアップして、地下鉄を利用して次の順路でまわることにした（カッコ内は地下鉄の最寄駅）。

建中寺（車道駅）→東照宮（丸の内駅）→西本願寺（上前津駅、大須観音駅）→東本願寺（東別院駅）

車道駅から徒歩10分ほど、東区役所のすぐそばにある建中寺は、1651（慶安4）年に尾張藩二代藩主の徳川光友により創建された古刹で、尾張徳川家の菩提寺。江戸期にはおよそ5万坪の敷地内に数十の堂が建つ大寺院であったという。総門と山門は創建当時の建物がそのまま残っており、とりわけ三間重層門の様式を持つ山門（「三門」とも表記する）には迫力がある。普



建中寺(本堂)



建中寺(山門)

段は非公開だが、2階には十六羅漢の像が祀られているようだ。大火に遭ったのち、18世紀後半に鐘楼や本堂を再建、建坪210坪の本堂は現在市内にある木造建築物のなかで最大のものに属する。『観光案内』にも「境内は頗る広大」で、「善美の限りをつくし、まことに、徳川家隆盛のあとを偲ばしてゐる」とあった。

次に訪問したのは名古屋城にほど近い名古屋東照宮。丸の内駅から長島町通を北へ5分ほど歩くと到着。周知のとおり家康公を祀る神社であり、1619（元和5）年の創建時には社殿が城内三の丸に置かれていた。1876（明治9）年に藩校・明倫堂の跡地である現在の場所に移った後も、「創建以来の権現造の本殿、渡殿、楼門、唐門、透塀、楽所、社務所等極彩色の国宝の諸建造物が並び輪郭の美を極めていた」（「東照宮の葉」）が、第二次大戦中の空襲により主要建物を焼失してしまう。現在の本殿は万松寺にあった徳川義直（尾張初代藩主、東照宮の創建者）の正室・春姫の霊廟（1651年建立）を移



名古屋東照宮(本殿)

名所を訪ねて (2) 西本願寺～東本願寺

「名古屋中部の人家密集の中にあつて、堂宇及境内よく、静寂な姿を保つてゐる」と『観光案内』に紹介されている浄土真宗本願寺派本願寺名古屋別院（西別院）は、大須観音のすぐ近く。



西別院(本堂)

名古屋城築城の際に「名古屋願證寺」として現在の中区門前町に移転し、江戸時代には葛飾北斎が境内で大達磨の絵を描いたり、明治初期には医学講習場（現在の名古屋大学医学部の前身）が設置されたり、また戦後になると境内に大須球場が設けられたりと、長い歴史のなか

でさまざまな出来事の舞台となった寺院である。ここもまた空襲で本堂をはじめ庫裡、書院など31棟を焼失したというが、焼け残った南門と鐘楼が往時の姿を伝えている。この鐘楼は1729（享保



西別院(鐘楼)

14）年、三河国から移築されたものであるという。1972（昭和47）年に再建された印度様式の本堂も大きくて立派だ。

地下鉄の駅名「東別院」で馴染みぶかい真宗大谷派名古屋別院（東別院）は、メーテレのすぐ隣に建つ広大なお寺。1690（元禄3）年に寺院として開



東別院(本堂)

かれる以前、この場所が織田信秀（信長の父）の居城「古渡城」であったことから、その広さがうかがえるだろう。近代以降は明治天皇の行在所として、明治初期には博覧会や県議会の会場になったこともあるようで、『観光案内』には「名古屋を遠望する時、名古屋城と共に必ず指呼の目標となるもの」と紹介されている。名古屋空襲で境内の大半を焼失しているが、東門と鐘楼の鐘は戦前からの古いものが残っている。また、かつての新御殿後庭が名古屋市の手で下茶屋公園として整備されており、天保時代の面影を伝えている。



東別院(古渡城址碑)

大名古屋市の時代

「昭和期を迎えると、大正時代に決定された都市計画事業が実り始めました。昭和5年（1930）の中川運河の完工、公会堂の完成に続き、市民病院・市庁舎・国鉄名古屋駅の新築、桜通が完成し、東山動物園・植物園が開園しました」（市政資料館「常設展示案内」より）。

引用のように昭和初期、『観光案内』が出版されたころの名古屋は、インフラが一通り整備され、都市としての自信を深めていった時期にあたるようだ。「今日の大名古屋市」（『観光案内』）といった表現もまた、そうした気運から生まれたものだろう。それでも『観光案内』では、新興の施設以上に古くからの神社仏閣が重んじられている。近世までの先人のあゆみや信仰が、まだそこかしこに息づいていた時代でもあったのだ。

ここまで見てきたとおり第二次大戦下の空襲で姿を変えた建物もあるが、多くの神社は現在も何らかの形でいしへの姿形をとどめている。新しい年のはじめに身近な名所を再発見し、街歩きの楽しみをひとつ増やしてみてはいかがだろうか。

〈ウェブサイト〉

- ・建中寺 <http://www.kenchuji.com/>
- ・名古屋東照宮 <http://名古屋東照宮.com/>
- ・浄土真宗本願寺派本願寺名古屋別院(西別院) <http://www.tokai-hongwanji.net/>
- ・真宗大谷派名古屋別院(東別院) <http://www.ohigashi.net/>



企画公演のあゆみ(Ⅱ) ~これまでの足跡と今後の展望について~

せきやま みきお
関山三喜夫 (関山三喜夫舞踊団代表)

くりき ひであき
栗木英章 (劇団名芸代表)

なつめ ひさこ
夏目久子 (声楽家) / かとう のりこ
加藤典子 (声楽家)

(進行・まとめ：倉知外子)

■ ミュージカル「シンデレラ」公演に向けて

名古屋市文化振興事業団が企画から制作まで全てを手掛けている企画公演は、2月に28作目となるミュージカル「シンデレラ」を上演します。前号では第1作から制作委員や出演者として関わられた4氏のみなさんに今までの足跡を伺いましたが、今号は演目を決めるポイントや、「シンデレラ」の魅力、そして今後の新しい展望について伺いました。

■ 演目について

【司会】 同じ路線をやっているとは同じような参加者になってしまうので、手を変え品を変え色々な人たちが参加できるような演目選びにもご苦労されていると伺いましたが・・・。

【加藤】 知名度の高い作品はオーディションの応募者も多く、また観客動員もしやすいのです。そのような作品ばかりでもいけないので難しいですね。特に再演は、良い作品であればまた取り上げたいし、一方でまたかと思われないう、慎重に選びたいです。

【栗木】 名作といわれる作品なら創り手側は作品のイメージがし易いという安心感がありますが、観客側には今の時代にあった新しいオリジナルな作品に出会いたいというニーズもあります。

【夏目】 今回の「シンデレラ」のオーディションには185人の応募で32人が決まりました。20代~30代と比較的若いカンパニーになりましたね。

【司会】 オーディションの会場からすでに「シンデレラ」の雰囲気スタートしているのでしょうか。演目による応募者の傾向はありますか？



名古屋市文化振興事業団 企画公演第27作目
オリジナルミュージカル「海の向こうに」(平成22年9月 青少年文化センター)

※作・台本・作曲・演出の西田直木氏(スイセイ・ミュージカル所属)は、この作品で平成22年度名古屋演劇ペンクラブ賞を受賞

【加藤】 演目によりますが、オペレッタ、ミュージカルは音楽系の方が多く、過去の「トーキー・トーキー」や「海の向こうに」などの創作ミュージカルは演劇系の応募者が多いように感じます。

【栗木】 印象としては音楽と舞踊関係者の応募が多いように思います。最近は地元大学のミュージカル科の学生が育ってきて、この公演を有効に活用しています。どちらにとっても追い風になってほしいですね。

■ 「シンデレラ」の観どころ

【司会】 今回のミュージカル「シンデレラ」についてはどのあたりに注目していますか？

【加藤】 「サウンド・オブ・ミュージック」のロジャース(作曲)とハマースタイン二世(脚本)の黄金コンビで書き下ろされた名作ですが、名古屋での上演は初めてではないでしょうか？



同第17作目 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」
(平成13年2月 芸術創造センター)

【関山】 今回は振付がジャズダンスを専門とする高木順子氏なので、クラシカルな作品をどう振付するか楽しみです。

【夏目】 音楽は監督と指揮が海外での活躍も多い中島良史氏で、オーケストラによる生演奏が贅沢ですね。

【栗木】 最近の作品創りの傾向はテンポの速さです。テンポ良く進行する「シンデレラ」もスピーディーな展開が大いに期待できます。演出の永井寛孝氏は愛知県出身ですが、東京の老舗劇団「テアトル・エコー」で活躍している演出家です。コミカルで楽しい演出に注目ですね。女性が主となる内容に思えますが、男性も重要な役どころで頑張してほしいです。

【関山】 象徴的なかぼちゃの馬車をはじめ、演出の永井氏は舞台の不自由さをどのように表現して遊ぶかがおもしろいと意欲を高めていられるようです。映画ではなく舞台ならではの楽しみですね。

【加藤】 3カ月の稽古期間は決して長くないので、歌にダンスにお芝居に、キャストのみなさんは大変だと思います。リハーサルのスケジュール調整も更に大変ですよ。本当によく頑張っています。

【栗木】 今回の出演者はすべてオーディションで選ばれて、特別指名がないということは、人材が育っている証といえます。「シンデレラ」は知名度もあり楽しそうというイメージもあって、世代を超えて楽しめると思います。

【関山】 子ども向けのように思われがちですが、老若男女、だれでも安心して楽しめる舞台になり、ファミリーのオアシスになってほしいですね。また、舞台は夢を提供する場なので、出演者には「シンデレラ」においては特にそういうことを心がけて舞台に立ってほしいと思います。



ミュージカル「シンデレラ」の稽古風景
演出家 永井寛孝氏の熱心な指導を受ける出演者たち

■企画公演の将来に求められること

【司会】 それでは最後に新しい可能性や、将来への希望などについてお話をください。

【加藤】 キャストは育ってきていますが、舞台の裏方スタッフの人材育成も大切ですね。人材が豊富であればよいのですが…。名古屋出身で地元を離れて大いに活躍されている方々もいらっしゃいますから、名古屋でも活躍してほしいと思います。これだけの規模の舞台制作を経験して、若手や中堅スタッフの力を発揮する場にもなっていってほしいですね。

【栗木】 ゆくゆくは地元の作品で、地元のキャスト・スタッフが学んできたことを発揮し、東京と比べても遜色ない公演ができ、名実ともに名古屋発信ができるようにしたいですね。市民が創り、市民がバックアップする体制を作ることができたら未来は明るいです。



座談会風景(左から、加藤典子氏、夏目久子氏、栗木英章氏、関山三喜夫氏、司会の倉知)

【加藤】 オペラ、オペレッタなどに接する機会の少ない人たちが低料金で総合舞台芸術に親しめるということは、とても嬉しいことです。これからの可能性を考えると、若い世代と活躍中のベテラン世代がダブルキャストで公演できると刺激になります。公演回数も多くできる可能

性がありますし、若い世代には指導だけでは伝えられない「芸」を先輩から吸収して修練を重ねてほしいと思います。

【夏目】 私と同じ意見です。この企画公演は以前はダブルキャストで12回公演でしたが、今はシングルで5回公演がやっとです。今までは若い世代の育成に軸が置かれてきたように思いますが、今の社会状況を考えると広い年齢層の取り込みが求められています。生身の人間ですから、ダブルキャストとすることで本番における安心と安全につながります。

【関山】 名古屋市も文化芸術に充てられる予算は年々厳しくなっているようです。初期の頃より公演回数が減ったのも、その影響でしょう。せめて今の水準を保ち、文化芸術の衰退に繋がらないようにしたい。そのためにも若者や子どもたちにレベルの高い作品を提供し、その子どもたちが大人になって観客になってくれるという流れを作らなくてはいけないと思います。それが、名古屋という都市の豊かさ、成熟度になると少し気負って言いたいです。

【司会】 充実した良い舞台は、観客そして都市をも育てていくといえますね。まだ経済的に厳しい状況が続きますが、豊かな社会をつくっていくためにも、キャスト・スタッフを始め、さまざまな関係者や観てくださる市民との相互の尽力で、更なる将来への高みを目指してほしいと思います。「シンデレラ」も名古屋の文化向上に大きく貢献してくれることを願っています。長時間にわたり貴重なお話をいただき、ありがとうございました。(了)

これまでの企画公演

☆…オリジナル創作物品

回	年度	ジャンル・演目	公演回数
1	昭和59年度	音楽劇「三文オペラ」	11
2	昭和60年度	ミュージカル「トニーとマリア」	9
3	昭和61年度	オペラ「ボーギーとベス」	12
4	昭和62年度	ミュージカル「マイ・フェア・レディ」	12
5	昭和63年度	オペレッタ「メリー・ウィドウ」	14
6	平成元年度	ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」	17
7	平成2年度	オペレッタ「天国と地獄」	11
8	平成3年度	ミュージカル「回転木馬」	5
9	平成4年度	ミュージカル「アニーよ銃をとれ」	11
10	平成5年度	☆音楽劇「照手と小栗」	11
11	平成6年度	音楽劇「三文オペラ」	10
12	平成7年度	オペレッタ「こうもり」	12
13	平成8年度	☆フォークオペラ「照手と小栗」	8
14	平成9年度	オペラ「フィガロの結婚」	12
15	平成10年度	ミュージカル「かるめん・じょんず」	12
16	平成11年度	オペレッタ「メリー・ウィドウ」	12
17	平成12年度	ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」	12
18	平成13年度	オペレッタ「天国と地獄」	10
19	平成14年度	ミュージカル「ショウ・ポート」	5
20	平成15年度	ミュージカル「ビッグ」	5
21	平成16年度	☆オペレッタ「夏の夜の夢」	5
22	平成17年度	☆ミュージカル「コンガラ野球団！」	8
23	平成18年度	オペレッタ「伯爵令嬢マリツァ」	5
24	平成19年度	ミュージカル「オズの魔法使い」	5
25	平成20年度	☆ミュージカル「トニー・トニー」	5
26	平成21年度	オペレッタ「チャルダッシュの女王」	5
27	平成22年度	☆ミュージカル「海の向こうに」	5
28	平成23年度	ミュージカル「シンデレラ」	5

ピックアップ

名古屋能楽堂展示室 1月企画展 「下田益三旧蔵書展 一貴書に学び、稀書と遊ぶ」

大正時代から昭和初期は、能楽に対する学問的興味が急速に高まった時期でした。

大阪のシテ方観世流能楽師・下田益三氏（明治20〔1887〕年—昭和6〔1931〕年）は、橋岡久太郎氏に師事し、大阪の橋岡家の会である淡交会を支える一方、能楽関係書籍の収集家としても知られていました。その方法は、単に書籍を金銭で買い集めるだけではなく、他所のものを借りて精巧に筆写するというものでした。また、書籍の内容について深く研究を行い、当時の著名な学者である山崎楽堂氏や高安六郎氏とも交流し、激しい論戦を繰り広げています。さらに、気に入った古書を忠実に複製し、淡交会を中心に頒布したこともありました。まさに、大正時代の洒落な気風の中、貴重で稀な書籍に触れ、学び、遊んだ、文化人といえるでしょう。

ご子息の観世流能楽師・下田雄三氏は、30年余にわたり名古屋から岐阜地方の弟子たちの指導を続けてこられました。平成20年10月に逝去されました。そして、このたび、蔵書の一部が、親交の深かった名古屋の大鼓方大倉流・笈鉦一氏に預けられることになりました。

これにともない、名古屋能楽堂展示室にて、これまで名古屋では実物を見る機会がなかった貴重書と、現代では知る人の少なくなった益三氏の業績についてご紹介いたします。

例えば、[写真1]は、「光悦本(こうえつぼん)」

と称され、江戸時代のごく初期、慶長10（1605）年前後に刊行された観世流の謡本です。色あせてはいますが、もとは料紙に雲母(きら)模様がほどこされ、本阿弥光悦流の書体で本文が記された華麗な本で、美術史の分野でも重視されています。大正時代、この光悦本に魅せられ、複製を制作しようとした人々が現れましたが、販売の面でうまくいかず、多くの計画が頓挫しました。その中で下田益三氏は、大正13（1924）年、私財を投じて精巧な複製を作りました。それが[写真2]です。

また、[写真3]は、片手のひらに乗るほどの紫檀の小箱に、20冊の小さな謡本が収められています。江戸時代後期に印刷された謡本と思われそうですが、観たり謡ったりするだけでなく、能を通して遊んだ趣味人の心が偲べれます。

このほか、「元和卯月本」と称される江戸初期刊行の金銀泥絵表紙の謡本や、他に類書を見ない能面伝書などを展示いたします。

折しも今年、2012年は、国連国際図書年の40周年にあたります。この機会に、ぜひ、大正期の能楽を彩ったさまざまな本に会いにお越しくください。

（名古屋能楽堂事業検討委員・米田真理）

名古屋能楽堂展示室1月企画展「下田益三旧蔵書展」

会 期 12月28日（水）～1月31日（火）

料 金 無料

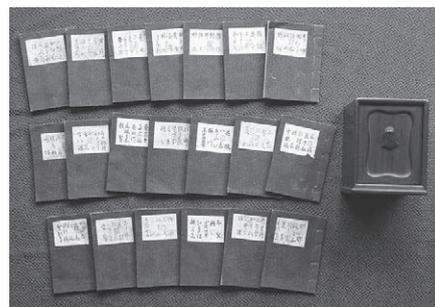
問い合わせ 名古屋能楽堂 TEL052-231-0088



[写真1] 光悦本



[写真2] 複製された光悦本



[写真3] 手のひらサイズの謡本

(写真・保田紹雲)

芸術文化活動アドバイザー

「画家・プロの演奏家・作家・俳優になりたい!」、「専門の大学へ進学・留学したい…」、「創作活動でわからないことがある…」といった芸術活動の悩みや疑問に、各方面で活躍中のスペシャリストが無料で相談に応じます。

日時 土曜日、日曜日 13:30～17:00 ※予約不要、相談日は下記を参照。

場所 ナディアパーク7階 アドバイザーカウンター(ナディアパークプレイガイド内)



【音楽】やまもと かほ
(ソプラノ)

■1月22日(日)・29日(日)
■2月19日(日)
■3月4日(日)・18日(日)



【器楽】岡田正子
(フルート奏者)

■1月21日(土)・28日(土)
■2月12日(日)
■3月24日(土)



【文学】菅原朋子
(児童文学作家)

■1月8日(日)・15日(日)
■2月11日(土)・26日(日)
■3月11日(日)・25日(日)



【演劇】鹿目由紀
(劇作家・演出家)

■1月14日(土)
■2月18日(土)・25日(土)
■3月3日(土)・17日(土)



【美術】石倉悦加
(美術作家)

■1月7日(土)
■2月4日(土)
■3月10日(土)・31日(土)

メールで質問!

★忙しくてナディアパークに行けない! という方は、メールで質問をお寄せください。 sodan@bunka758.or.jp

講師スケジュールなど、詳しくは、名古屋市文化振興事業団HPをご覧ください。 <http://www.bunka758.or.jp>

問い合わせ 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL052-249-9385 FAX052-249-9386

登録アーティスト制度『名古屋AGC』の利用のご案内

登録アーティスト制度『名古屋AGC』とは、芸術文化を創造するアーティストの支援・育成を目的に、市民・企業・団体等からの依頼に応じて、登録アーティストから適切な人材を紹介し、アーティストに活躍の場を提供している事業です。(名古屋AGC = Nagoya Artist Guide of Cultural promotion agencyの略称)

《登録アーティストの紹介》

福祉施設や学校などでの演奏、企業の会合やパーティなどでのアトラクション、ワークショップの講師などを行うアーティストの情報を目的やご予算に合った登録アーティストからご紹介いたします。(出演の交渉やイベントの運営等はお客様で行っていただきます。)

《アーティストの登録申込み》

主に名古屋地域を活動の場としている実演家の方の登録を随時受け付けています。プロ・アマチュアは問いません。(登録数:245件(平成23年11月現在))

登録アーティストの紹介料及び登録料は無料です。

登録アーティストの閲覧・利用申込み・登録申込み方法については、名古屋AGCホームページをご覧ください。

名古屋AGCホームページ <http://agc.bunka758.or.jp/>

問い合わせ 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL052-249-9385 FAX052-249-9386

きょうどこ行こう?
明日なに演ってるの?
知りたいときにアートナビ!

ナゴヤ・アート・ナビ 検索

「ナゴヤ・アート・ナビ」ウェブサイトでは市内文化施設の催事案内のほか、市民主催の催し物をご紹介します。

掲載を希望される方はホームページ (<http://www.art758.jp>) にアクセスしてお申込みください。

ご応募お待ちしております。

問い合わせ

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL052-249-9385

名古屋市文化振興事業団2012年企画公演 ミュージカル『シンデレラ』

名古屋市文化振興事業団では、毎年、地元で活躍する音楽・演劇・舞踊をはじめとする舞台人の総力を結集し、新しい可能性を追求する企画公演を開催しています。

28回目を迎える今回は、ミュージカル界の巨匠リチャード・ロジャースとオスカー・ハマースタインⅡ世によるミュージカル「シンデレラ」(上演台本・訳詞・演出/永井寛孝、編曲・音楽監督・指揮/中島良史、振付/高木順子)を上演します。

オーディションにより選ばれた出演者と生のオーケストラが、名作童話の世界を美しく楽しい音楽、賑やかなダンスにのせてお贈りします。この機会にどうぞご来場ください。

「シンデレラ」そのステキな音楽の世界



音楽監督・指揮・編曲
なかじま よしふみ
中島良史

国立音楽大学作曲科卒業。作・編曲、指揮、各種イベントのプロデュースなど広範な活動を展開。舞台作品にはオペレッタ「ヤチホコ」、ミュージカル「アマデウスがやってきた」など多数。また山下洋輔等ジャズや和太鼓との共演等ジャンルを超えた活動を行う。第九の「日本初演再現演奏会」を企画制作。2011年に創立20年を迎えた「国際音楽祭ヤング・ブラハ」日本代表としてその発展に貢献し、世界の若者たちに活躍の場を提供している。

世界中の子どもたち(大人にも)に愛唱される“ドレミのうた”そして“エーデルワイス”“私のお気に入り”…あの「サウンド・オブ・ミュージック」の作曲者といったら、それだけで魅力溢れる音楽がイメージされますね。その通り!ミュージカル「シンデレラ」はその全篇が作曲家リチャード・ロジャースのステキな音楽で綴られています。ロジャースがオスカー・ハマースタインⅡ世とのゴールデンコンビで生み出したブロードウェイミュージカルはどれもこれも大ヒット!「オクラホマ!」「回転木馬」「南太平洋」「王様と私」…それぞれの珠玉のナンバーのメロディーが懐かしく思い出されるでしょう。何?知らないって?…そう、確かに若い世代にはね。でも一度是非聴いてみてください。あれもこれも、まるでモーツァルトのような永遠に残る名曲揃い!きつと大好きになりますよ。

「シンデレラ」は1957年にテレビ放映用に作られ、当時全米でナント!一億人が視聴したとか。その後も舞台化されてやはり大ヒット。代表的なナンバーはIn my own little corner(わたしだけの小さな場所)、10 minutes ago(10分前)、Do I love you because you're beautiful?(愛するのは美しいから?) Impossible /It's possible(できない、できる!) A lovely night等、ムーディーなバラードからコミカルな歌、舞踏会の古典舞曲まで、これぞまさにミュージカル!というべき様々なスタイルの音楽の“るつぼ”。クラシックからジャズまでジャンルを超えて、本当にロジャースの音楽って幅が広いのです。そしてお得意のとびっきり甘美なメロディーは人々の心をグイッと捉えます。

贅沢なオーケストラも華やかに奏でられます。今度の公演はオリジナルヴァージョンの魅力に迫ります。ご期待ください。

さて、シンデレラといえばディズニーアニメがすぐ浮かびます。「ピピディバピディブー」「これが恋かしら」…etc. 素敵なお話からはステキな音楽が生れるのですね。

日 時	2月17日(金)18:30、18日(土)11:00・16:00、19日(日)11:00・16:00 (5回公演)
会 場	青少年文化センター・アートピアホール
料 金	S席4,000円(1F) A席3,000円(2F) <全指定席> ※事業団友の会会員は1割引
助 成	芸術文化振興基金
問い合わせ	公益財団法人名古屋市文化振興事業団 TEL 052-249-9387 FAX 052-249-9386

舞台VTR映像専科

ステージの感動を格調高い映像で追求します。



ビデオソフトの企画・制作

有限会社 エーワン・ビデオ・システム
TEL (052)896-2256 FAX (052)896-4100



ハードシステム部門
AV機器販売部門(家庭用)
映像企画・制作部門
放送関連部門
機器設備レンタル部門

映像メディアの未来を創る
生きた情報を発信

TVS 株式会社 東海ビデオシステム
名古屋市中区上津二丁目14-15 TEL <052>322-6541(代表) 6562(芸能部)



■ホール舞台音響設備 販売、設計、施工、保守

株式会社エーアンドブイ
TEL 464-0846
名古屋千種区城木町二丁目98
TEL 052(761)5400
FAX 052(761)0909

夢を現実に…



振付
たかぎ しゅんじ
高木順子

中京大学体育学部卒業。名倉加代子・岩下佳代にジャズダンスを師事。名倉加代子ジャズダンス公演「Can't stop Dancing」「八代亜紀 劇場公演・全国ツアー」「メガロポリス音楽祭」「レコード大賞」「オール・トヨタファミリーミュージカル ONE」等に出演。自主公演「ON&OFF」名古屋市文化振興事業団ミュージカル「オズの魔法使い」等の振付「トーキー・トーキー」の振付助手。

現在、中京大学体育学部、名古屋芸術大学音楽学部、非常勤。中日文化センター、サン・ワークスタジオ等で指導している。

誰もがめぐりあう童話「シンデレラ」。

幼い頃の私も、いじめられるシンデレラが可哀想で、彼女の境遇に涙し、エールを送ったものでした。でも、いつしか興味を持つようになったのは魔法使いのおばあさんの「魔法」！なぜなら自分も夢を持つようになったからです。その夢をかなえるため、ありもしないことを考え、もし魔法が使えたら簡単なのになあ…と。思えば私も可愛かったんですね。（今なら「シンデレラ」物語も「玉の輿物語」だわって、考えてしまう。）

私は夢を追って踊りの世界に飛び込みました。とは言ったものの、そこには魔法に頼りたくなるような現実の数々！挫折、挫折、また挫折…。それでも好きだから辞められなかったし、今まで続けてこられたのだと思います。何もしないであきらめるくらいなら挑戦して失敗する方がいい。『あの時こうしておけば』なんて後悔したくないから。失敗を繰り返して成長してこそ夢を現実にできる。

以前読んだ本に夢をかなえるために大切なことを山登りに例えて、こんなことが書かれていました。

『たとえ1億歩かかるとしても、最初の一步を踏み出すことで残りは間違いなく9,999万9,999歩になっているのです。一步一步を積み重ねていって、やり続けることができれば必ず頂上に到達するのです』と。

夢見ることは誰にでもできるけど、夢をかなえるためには、行動にうつさなければ始まらないし、コツコツ続けることが大切。

私はこの「シンデレラ」という夢を現実にする物語を、ミュージカルらしくダンスを通じて華やかに、そしてご来場の皆様に、より想いが伝わるようお手伝いできたと思っています。まだまだ夢を追い続けているスタッフ&キャストの魔法の世界に遊びに来てください。そして楽しいひと時を一緒に過ごしましょう。



◇ミュージカル「シンデレラ」稽古場見学会のご案内

本番を前に熱気の高まる稽古場。ミュージカル界の巨匠リチャード・ロジャース&オスカー・ハマースタインⅡ世によるミュージカル「シンデレラ」の上演に向け、スタッフ・キャスト一丸となって、日夜奮戦中です。普段見ることのできない、ミュージカルの稽古場をのぞいてみませんか？

日 時	1月28日(土)14:00
会 場	演劇練習館アクテノン・リハーサル室
定 員	先着 40人(無料・1グループ5人まで)
申込方法	1月4日(水)より電話でお申し込みください。
申 込 先	(公財)名古屋市文化振興事業団 TEL 052-249-9387(平日の9:00~17:00)



ナディアパークプレイガイド

ナディアパーク7階で、事業団主催事業を始め、チケットぴあ、その他公演、イベントチケット等を販売しています。郵送対応可(有料)。ぜひご利用ください! ☎ 052-265-2015

広告募集!

芸どころ名古屋をクローズアップする「なごや文化情報」。名古屋の文化人を始め、市内公共施設や劇場などに広く配布して多くの方に愛読いただいております。広告掲載については下記まで。

公益財団法人名古屋市文化振興事業団
TEL 052-249-9385

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい!

使う! 観る!

名古屋市文化振興事業団
『友の会』会員大募集

エンジョイコース (年会費3,000円)

- ・事業団主催公演や提携事業のチケット割引!
- ・情報満載の「友の会だより」などを毎月お届け!
- ・提携ショップでのお買い物の優待割引!
- ・会員の皆さまが参加できるイベント開催!など

クリエイティブコース (年会費15,000円)

- ・上記エンジョイコースに加え、次の特典も受けられます。
- ・会員主催の公演チラシを事業団施設に無料配布!など

詳しくは、事業団「友の会」事務局まで TEL 052-249-9385

「なごや文化情報」編集委員

飯塚恵理人 (椋山女学園大学文化情報学部教授)
小沢優子 (名古屋音楽大学講師)
倉知外子 (オクダ モダンダンス クラスター副代表)
酒井晶代 (愛知淑徳大学メディアプロデュース学部教授)
田中由紀子 (美術批評/ライター)
はせひろいち (劇作家・演出家)

当事業団の募集する事業にお申し込みいただいた場合の個人情報は、当該事業に関する事務連絡及び、当事業団の文化事業に関する案内のみに使用させていただきます。

第5回 アートピア音楽祭

アートピア音楽祭は、音楽を愛する若者が集い、交歓し、楽しむ音楽の祭典です。今回で5回目となり、内容は合唱、管弦楽、ハンドベル、吹奏楽など様々なジャンルの演奏会です。1部・2部それぞれ合同演奏も行う予定です。是非皆さまご来場ください。

日時 2月5日(日) 13:30 **料金** 500円(全自由席)

会場 青少年文化センター・アートピアホール

出演予定団体 6団体(順不同)

<第1部> Handbell Company一音(いちおん)・
合唱団ピンクエコー Orchestra Bene
<第2部> 名古屋市民吹奏楽団・名古屋緑吹奏楽団・
ウインドファミリーなごや

賛助出演・協力 岡田正子・やまもとかよ(芸術文化活動アドバイザー)・中村暢宏(指揮者)

問い合わせ 青少年文化センター TEL052-265-2088 FAX052-265-2187



名古屋能楽堂3月定例公演&特別企画展「新作能面展」

◆3月定例公演～能・狂言と“世界”～

1956年、イギリスの作曲家ブリテンが来日した際に感銘を受け、のちにオペラ「カーリユー・リヴァー」を生んだ能「隅田川」をお贈りします。また能「隅田川」では、全国より公募した新作能面(最優秀賞)を使用します。

能 『隅田川』(喜多流) シテ 長田 驍
狂言 『禰宜山伏』(和泉流) シテ 井上靖浩

日時 3月3日(土) 14:00

料金 <指定席>4,000円
<自由席>一般3,000円 学生2,000円
※友の会会員は1割引(前売のみ) ※自由席は当日500円増

問い合わせ 名古屋能楽堂
TEL052-231-0088 FAX052-231-8756



能「隅田川」

◆特別企画展

池田町伝統文化保存活用実行委員会・
福井県池田町能面美術館提携
「新作能面展」

能楽の里、福井県池田町で2月に開催される新作能面公募展の優秀作品を名古屋能楽堂にて展示します。どれも確かな技術による力作ばかりです。歴史と伝統の息吹を感じてください。

日時 3月6日(火)～3月22日(木)
9:00～17:00
(最終日は15:00まで)

料金 無料

名古屋市文化基金のご案内 名古屋の文化を創るのは、あなたです。

名古屋市文化基金(名古屋市市民文化振興事業積立基金)は、市民生活に潤いをもたらす名古屋の文化の発展のために、昭和57年に設置されました。この基金は、皆様からのご寄附と市の出資金を積み立て、その運用による果実(利息)で、市民の文化振興のための事業を実施することに役立てられています。

皆様からのご寄附をお待ちするとともに、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

参加体験事業

市民の皆様が参加・体験できる事業を積極的に展開しています。

鑑賞事業

伝統芸能をはじめ、優れた舞台芸術を紹介しています。

支援育成事業

市民の皆様が行う創造的な文化活動を支援しています。

情報発信事業

「なごや文化情報」などを発行し、文化情報を広く提供しています。



名古屋市文化基金は、ふるさと寄附金(納税)制度の適用対象となります。

※名古屋市民の皆様が、名古屋市文化基金に寄附される場合も、この制度によって税額控除を受けることができます。税控除等の詳細につきましては、リーフレット又は市公式ウェブサイトをご覧ください。

問い合わせ

名古屋市市民経済局文化振興室 TEL 052-972-3172
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL 052-249-9390

詳しくは、市公式ウェブサイト トップページ

文化 基金

検索



感動を育てる種をまこう。
名古屋市文化基金